

市民公開講座

幹細胞医学が見る夢

慶應義塾大学グローバルCOEプログラム「幹細胞医学のための教育研究拠点」
第49回 日本SF大会「2010TOKON10」(ニイマルイチマルトコンイチマル)
ジョイント企画(一般公開)

2010年8月7日(土)

午後3時開演～午後6時30分終了予定(午後2時30分開場)

会場:タワーホール船堀 5階 大ホール

〒134-0091 東京都江戸川区船堀4丁目1-1 都営新宿線 船堀駅下車 徒歩1分



講演者・パネリスト

岡野 栄之

慶應義塾大学医学部教授・
グローバルCOEプログラム「幹細胞医学のための教育研究拠点」拠点リーダー

牛場 潤一

慶應義塾大学理工学部専任講師

瀬名 秀明

作家、元東北大学機械系特任教授

東 浩紀

作家・批評家、早稲田大学文学学術院教授

参加無料
事前申込制:先着400名

司会・進行

八代 嘉美

慶應義塾大学 総合医科学研究センター助教

◎本企画の参加お申し込みはメールにて承ります。

1. メール の 件名(subject)に「幹細胞医学が見る夢・観覧希望」と記入してください。
2. 本文に①ご氏名②ご職業③お住まいの都道府県④返信先e-mailアドレス を記載し、
kansaihou@tokon10.net 宛にお送りください。

折返し受講票をお送りします(先着順:定員400名になり次第締め切ります)

※今回お預かりする個人情報につきましては、このシンポジウムの開催事務のみの使用といたします。

受付期間: 2010年7月12日(月)～7月30日(金)

申込先アドレス: kansaihou@tokon10.net

詳細は <http://www.gcoe-stemcell.keio.ac.jp/>

グローバルCOEプログラム「幹細胞医学のための教育研究拠点」に関するお問合せ:r-gcoe@adst.keio.ac.jp

講演者・パネリスト 紹介



おかの ひでゆき
岡野 栄之 教授

慶應義塾大学医学部生理学教室

医学・科学技術の分野で脚光を浴びる人工多能性幹細胞「iPS細胞」を用いた神経再生の研究のほか、神経科学、脳科学研究において、業績は高く評価されています。本シンポジウムを共催するグローバルCOEプログラム「幹細胞医学のための教育研究拠点」の拠点リーダーとして、慶應義塾大学を世界屈指の「幹細胞医学研究拠点」に育てるべく、日夜研究と教育に取り組んでいます。



うしば じゅんいち
牛場 潤一 講師

慶應義塾大学理工学部生命情報学科

脳波を使って仮想世界「セカンドライフ」のなかを散歩・会話することができるブレイン・コンピュータ・インターフェース技術の開発をはじめ、この技術を応用し、脳卒中によって麻痺した手の運動能力の回復を目指す、神経リハビリテーションの研究でも広く知られる新進気鋭の脳科学・リハビリテーション工学の研究者です。ヒトの感覚と運動を科学し、脳と機械を繋ぐ、まさに先端生命科学の技術の一端をご紹介します。



せな ひであき
瀬名 秀明 先生

1995年、デビュー作の『パラサイト・イブ』が第2回ホラー小説大賞、1997年『BRAIN VALLEY』で第19回日本SF大賞を受賞するなど、「科学」の視点を通じて「人間性」について深く問いかける作品は、多くのファンに支持されています。認知科学やロボット工学などの科学への造詣も深く、2009年まで東北大学機械系特任教授としてご活躍されていました。本シンポジウムではまさにストーリーテラーとして、SF文学と科学という二つの「物語」へ、みなさんをいざないます。



あすま ひろき
東 浩紀 先生

1999年、博士論文である『存在論的、郵便的—ジャック・デリダについて』で社会に衝撃を与えて以来、『動物化するポストモダン』などの論考や『思想地図』の編著によって、ポストモダン論からオタク文化まで、幅広い思索によって日本の現代思想に大きな影響を与えてきました。その一方で熱心なSFファンとしても知られ、2009年に刊行された『クォンタム・ファミリーズ』ではSFの実作者として第23回三島由紀夫賞を受賞しました。人文学のフィールドから、最新の生命科学に迫っていただきます。